月刊

熊本県議会議員

髙島和男がゆく

令和8年11月号

【90歳の父が新車を買いました】

父は今年、卒寿を迎えます。おかげさまで元気で、近くのスポーツジムに通うことを日課としています。

そんな父が「新車を買いたい」と言い出し、我が家ではちょっとした議論になりました。高齢者によるペダルの踏み間違いや逆走事故が報じられる中、「90歳で新車なんて」「もし事故を起こしたら」と家族が心配するのは当然です。一方、父にとって車は、外出や健康を維持するための大切な「足」でもあります。安全は何より大切ですが、年齢だけで本人の意欲や生活の幅を狭めてよいのか。家族で話し合った末、購入に同意しました。

その後、父から**「皆さんには心配、迷惑を掛けないよう安全運転に専念します。乗れる間は安全運転に努め、自分でおかしいと思ったら運転をやめます」**というＬＩＮＥが届きました。

本稿をご覧になった皆さんにも、賛否さまざまなご意見があろうかと思います。

「高齢者に寄り添う」

「被災者に寄り添う」…。私たちは最近、「寄り添う」という言葉を多用します。しかし今回の一件を通して、果たして真に高齢者の方々に寄り添えているのだろうか、と自問しました。

もちろん安全が大前提です。家族も父の変化に目を配り、必要な時にはきちんと話し合っていきます。その上で、**本人の意思や生きがいにも目を向けること。**今回のことを通して**「寄り添う」とは何か**を改めて考え、これまで以上に真摯に高齢者の健康と福祉に向き合おうと自戒したのでした。

【世界を知り、日本を知る】

9月20日、長年懇意にしている矢野美枝さんが主宰する「e.a.oチャイルズコミュニケーションスクール」のカナダ短期留学報告会におじゃましました。

今夏、生徒8名がカナダ・ノバスコシア州へ2週間留学しました。英語の学習はもちろん、現地での生活や様々な体験、人との交流を通して、それぞれが多くのことを感じ、学んだようです。

日本人のパスポート保有率は依然として2割に満たない水準です。円安など経済的な事情もありますが、日本人の「内向き志向」も以前から指摘されています。

私は、若いうちに海外へ出ることには大賛成です。異なる文化や価値観に触れることで、それまで「常識」「当たり前」と思っていたことが、決してそうではないことに気づきます。そして外から日本を見ることで、改めて日本の良さを実感することもできます。

生徒たちの率直な報告を聞きながら、ふと思いました。**海外視察のあり方が問われた福岡県議会の皆さんにも、ぜひ聞いていただきたい報告会だった…と。**

海外へ行くことの意義は、行くこと自体ではありません。何を見て、何を感じ、何を持ち帰り、その経験をどう生かすのか。これは子どもたちだけでなく、私たち政治に携わる者にも問われることです。

世界を知り、日本を知り、そして自分自身を知る。今回の経験を糧に、生徒たちが大きく飛躍することを楽しみにしています。

e.a.oチャイルズコミュニケーションスクールのInstagramです

【私らしく、輝く未来へ】

9月27日、菊池市で開催された「ミセスオブザイヤー2026熊本きくち大会」を妻と観覧しました。

オープニングから華やかなステージ。ウォーキング審査では、姿勢や歩く姿、表現力、ポージングなど、ファイナリストの皆さんの堂々とした姿に圧倒されました。

続くスピーチ審査はわずか60秒。外見の美しさだけでなく、人生経験や内面の美しさも競う大会だけに、その短い時間には、それぞれが歩んできた人生や苦労、挑戦、未来への思いが凝縮されていました。

私が思いを馳せたのは、この舞台に立つまでのおよそ半年間です。華やかな姿の裏には、私たちには見えない努力や葛藤があったことでしょう。初めて味わう異次元の空間で、改めて女性の凄さ、力強さを感じました。また、約3時間半にわたり来場者を飽きさせない構成とエンターテインメント性にも感銘を受けました。

今回は熊本地震の影響で八代市から菊池市へ会場を変更。被災地からもファイナリストが出場し、**知人のKさんはプレシャス部門で見事グランプリに輝きました。**

「私らしく、輝く未来へ」という大会のテーマ。その言葉通り、年齢や境遇にかかわらず、新たな一歩を踏み出す姿は、見る人にも勇気を与えてくれます。

会場を移してでも開催された今回の大会。そこには華やかさだけではなく、震災から立ち上がろうとする熊本の力強さを感じました。

ミセスオブザイヤー熊本の公式 Instagram の QR コードです
ぜひご覧下さい

【西田続先生を偲んで】

9月27日、西田続先生の葬儀に参列し、最後のお別れをしました。先生は地元・田迎町を地盤に市議会議員を5期務められ、副議長も歴任されました。また、土地区画整理事業の理事長として地域整備にも尽力され、**今日のサンリブくまなん周辺のまちづくり、流通団地等をはじめ南部地域の発展の礎を築かれました。**地域に残されたその足跡は、これからも長く語り継がれていくことと思います。

2003年、私が市議会議員への立候補を考え、初めて相談させていただいたのが先生でした。当時、理事長を務めておられたこども園の忘年会にお招きいただき、それが候補者として初めて出席した会合となりました。まさに私の政治活動の原点の1つです。

市議を勇退された後、ご自宅を訪ねた際、床の間に掛けられた「晴耕雨読」の掛け軸を指しながら、「これからは文字通り、これで生きていく」と穏やかに話された姿も、今なお鮮明に記憶に残っています。

「花を育てる心情をもって生命あふれる未来を育む」…先生が大切にされたこの信念は、今もこども園の皆さんへと連綿と受け継がれています。

葬儀に参列し、改めて先生からいただいたご縁とご恩の大きさを噛み締めました。長年にわたる地域へのご尽力に深く敬意と感謝を申し上げ、心よりご冥福をお祈りいたします。

皆さんの声とともに県政を動かす

11月号 ウェブアンケートのお願い

この誌面は、皆さんの声に支えられています。QRコードから、今月号の率直なご意見や感じたことをお聞かせください。現場で動き出し、県民の安心と安全につながるよう、引き続き責任を持って取り組んでまいります。

アンケートQRコード
スマホで読み取ってください

髙島和男事務所
〒862-0962
熊本市南区田迎 2-17-7
届けます！あなたの思いを県政に
髙島和男サポーター募集中です！
TEL.096-288-6004
FAX.096-288-6009

動画を毎月公開しております！
ホームページをぜひご覧ください。

https://takashima-kazuo.com
Facebookもやっています！